



# いばらき県議会だより

茨城県議会  検索 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています

「いばキラTV」<https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています

「県議会公式X(旧Twitter)」<https://twitter.com/ibarakikengikai> もぜひご覧ください



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

No.226



令和5年第4回定例会の様子



茨城県議会議事堂

## 迎春

2024年



「目くばり、気くばり、思いやり」の  
心で

茨城県議会議長 半村 登

初めに、令和6年能登半島地震により亡く  
なられた方々にお悔やみ申し上げるとともに、  
被災された皆さまにお見舞い申し上げます。  
昨年12月の第4回定例会におきまして、第  
116代議長に就任いたしました。職責の重  
大さに身が引き締まる思いであります。  
コロナ禍を乗り越え社会経済活動の正常化  
が進む一方で、物価高騰の長期化が県民生活  
や地域経済に大きな影響を及ぼしており、物  
価高に負けない賃上げを実現し、消費拡大に  
つながり、県内経済の好循環を早期に生み出す  
ことが重要であります。  
また、圏央道の4車線化など広域交通ネッ  
トワークの整備をはじめ、企業誘致や新産業

の育成を図るとともに、農林水産物の国内外  
への販路拡大など本県農業の持続的な発展を  
目指す取り組みも必要であります。  
さらに、医療提供体制の充実や福祉・介護  
人材の確保、健康づくりの推進や認知症への  
対応など、県民が健康で安心して暮らせる県  
づくりも進めなければなりません。  
私は議長として、より一層県民の皆さまか  
ら県議会を身近に感じていただけるよう努め  
ながら、「目くばり、気くばり、思いやり」の  
心で、県民が幸福を実感できる活力ある茨城  
の実現に向けて全力で取り組んでまいります。  
県民の皆さまにおかれましては、一層のご  
支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 正副議長就任あいさつ

日常の当たり前前に感謝できる心を  
育てる教育



茨城県議会副議長 西野 一

このたびの能登半島地震で被災された皆さま  
まにお見舞い申し上げますとともに、亡くなら  
れた方々のご冥福をお祈りいたします。

先の第4回定例会におきまして、第117  
代副議長に就任いたしました。職責の重大さ  
を改めて感じているところでございます。

県民が将来にわたって安心して働き、安全  
に暮らせる社会を構築していくには、人口減  
少や少子高齢化などに対応するとともに、デ  
ジタル技術の革新など、新たな時代の潮流を  
捉え、県全体の底上げを図り、県土の均衡あ  
る発展に取り組んでいかなければなりません。  
また、豪雨をはじめとする自然災害が激甚  
化・頻発化していることから、防災・減災対

策を強化し、災害への対応能力の向上を図り、  
国土強靱化を推進する必要があります。  
こうした中、日常の当たり前前に感謝できる  
心を育てる教育や生命尊重、正義感や規範意  
識を持ち自ら考えて行動する人となるライ  
フスキル教育の推進など、魅力ある人づくり  
を進め、茨城の将来を担う人財の育成を図る  
ことも重要であります。  
県議会においては、県民一人一人の声を真  
摯に受け止め、地域の声が県政に反映される  
よう、半村議長を補佐し、公正、円滑な議会  
運営に努めてまいります。  
県民の皆さまには、なお一層のご支援、ご  
協力をよろしくお願い申し上げます。

### 第4回定例会の概要

令和5年第4回定例会は、12月6  
日から12月22日までの17日間の会期  
で開かれました。

議案は、議員などから、茨城県議  
会会議規則の一部を改正する規則な  
ど、知事から、令和5年度茨城県一  
般会計補正予算、茨城県核燃料等取  
扱条例、茨城県再生資源物の屋外  
保管の適正化に関する条例などが提  
出されました。

一般質問は、本県産業の躍進、鹿  
島港における荷役設備の充実化、茨  
城地域医療構想などの項目につい  
て行われました。(2〜3面)

各常任委員会では、付託議案や請  
願の審査、その他所管事務に関する  
質問を行い、核燃料等取扱税により  
整備した避難用道路の周知方法など  
が議論されました。(4面)

予算特別委員会では、台風第13号  
の影響で被災した事業者への支援、  
高校教育における労働教育の充実な  
どの質疑が行われました。(5面)

決算特別委員会では、閉会中の審  
査を経て、開会日に委員長報告が行  
われました。(7面)

誰もが輝く持続可能な茨城を担う  
人づくり調査特別委員会では、これ  
までの調査・検討を踏まえ、調査結  
果の報告が行われました。(7面)

県有施設・県出資団体等調査特別  
委員会では、閉会中の現地調査のほ  
か、県執行部からの説明聴取や質疑  
が行われました。(7面)

今回の定例会では、予算、条例、  
人事、認定、報告、意見書、請願、  
決議などの52件の議案などが可決、  
同意、認定、承認、採択されました。

**第4回定例会の主な日程**

令和5年第4回定例会は、左記の会期日程で開催されました。

12月6日(水)	本会	議
(開会、知事提出議案説明)		
12月11日(月)	本会	議
12月12日(火)	本会	議
12月13日(水)	本会	議
(一般質問・質疑)		
12月14日(木)	常任委員会	議
12月18日(月)	本会	議
(予算関係議案常任委員長報告等)		
12月19日(火)	予算特別委員会	議
(誰かが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会)		
12月20日(水)	県有施設・県出資団体等調査特別委員会	議
12月21日(木)	本会	議
12月22日(金)	本会	議
(委員長報告、採決、閉会)		

**一般質問(要旨)**

●質問者

12月11日(月)	鈴木 将 議員
	(いばらき自民党)
	秋 嘉一 議員
	(無所属)
	木本 信太郎 議員
	(いばらき自民党)
12月12日(火)	横田 透 議員
	(いばらき自民党)
	設楽 詠美子 議員
	(立憲 いばらき)
	黒部 博英 議員
	(いばらき自民党)
12月13日(水)	水柿 一俊 議員
	(いばらき自民党)
	石塚 隼人 議員
	(いばらき自民党)
	下路 健次郎 議員
	(いばらき自民党)

こちらから録画映像でご覧になれます▶  
[https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai\\_result&gikai\\_id=166](https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=166)

**本県産業の躍進**

議員 わが国の低迷を盛り返すためには、本県産業が躍進し、日本全体をけん引していくことが求められる。企業誘致と人材育成の観点から、本県産業の躍進に向けて、どのように取り組んでいくのか。

**知事** 戦略的な企業誘致を展開し、産業用地の確保については、市町村の開発への支援を含め、スピード感を持って対応していく。また、デジタルスキルを中心にリスキリングを推進するとともに、高度IT人材の育成を強化していく。



鈴木 将 議員  
いばらき自民党  
つくば市選出

**望まない孤独・孤立への対策**

議員 どの世代にも幅広く該当する社会的孤立の問題を巡り、「孤独・孤立対策推進法」が令和6年4月から施行される。これを踏まえ、望まない孤独・孤立への対策をどのように進めていくのか。

**福祉部長** まずは庁内関係課や民間団体などと連携し、孤独・孤立問題の情報や課題の共有を図るとともに、孤独・孤立対策をより効果的に推進するための連携の仕組みなどについて検討を進めていく。

(ほかに、県産品の輸出拡大、県立高校の在り方なども質問)



産業用地の開発が進むひたちなか地区

**茨城県地域医療構想**

議員 県が県立病院の在り方などを率先して示すことで、早期に水戸地域医療構想調整会議の議論をまとめていただきたいが、所見は。

**知事** 県立中央病院は、高度な医療の提供体制を強化するとともに、新興感染症などの政策医療を中心的に担う意向を示しているが、公的医療機関などの役割分担の整理が必要である。県としては、同会議における議論を加速させ、地域のニーズに応える医療提供体制の構築に取り組んでいく。



木本 信太郎 議員  
いばらき自民党  
水戸市・城里町選出

**御前山県立自然公園の安全と魅力の向上**

議員 御前山県立自然公園について、常陸国ロングトレイルとの一体的な整備や登山アプリ「ヤママップ」<sup>※3</sup>の活用など、安全と魅力の向上が必要と考えるが、所見は。

**知事** 常陸国ロングトレイルと御前山地域の一体的な整備を図っていく。また、ヤママップの活用も有効と考える。県としては、さまざまな主体と連携しながら、安全と魅力の向上に取り組んでいく。

(ほかに、市町村への権限移譲及び広域連携の推進、雨水対策なども質問)



御前山と那珂川大橋

**茨城県の有機農業の拡大とオーガニック学校給食の実現のための予算確保**

議員 有機農業を拡大していくとともに、有機農産物を取り入れるための学校給食の予算の確保について、県全体として取り組むことが重要と考えるが、所見は。

**知事** 有機農産物の需要拡大が続く中、旺盛なニーズに応えられるよう、一層強力に生産拡大を推進していく。学校給食での提供は、市町村自らが予算面も含めて判断すべきであるが、県内の先進事例を見つつ、どういう形で支援できるか検討する段階であると考える。



設楽 詠美子 議員  
立憲 いばらき  
筑西市選出

**教育現場での外国籍の児童生徒、保護者に対する多言語対応と相談体制の充実、異文化理解**

議員 教育現場での児童・生徒、保護者に対する多言語対応などについてどのように考えるのか。

**教育長** 児童・生徒や保護者には、日本語の初期指導や就学支援などを実施している。高校などへの進学サポートとして、今年度から全県で4言語でのオンラインガイダンスを始めた。また、学校の授業での実践や好事例を県内に広め異文化理解の風土を醸成していく。

(ほかに、看護師不足並びに偏在の解消、栄養教諭等の茨城県独自の配置基準の創設なども質問)



学校給食で提供された有機農産物を味わう児童(龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小学校提供)

**鹿島港における荷役設備の充実化**

議員 鹿島港にあるガントリークレーン<sup>※1</sup>を、貨物の集荷促進のために増設すべきと考えるが、増設の具体的計画や将来ビジョンは。

**土木部長** 利用者ニーズや貨物の動向など、需要見込みを踏まえる必要があるため、貨物集荷および定期コンテナ航路の増便など、鹿島港の利用促進に取り組むことが重要と考える。今後のコンテナ貨物の集荷状況などを踏まえながら、ガントリークレーンの増設を含めた港湾機能の拡充を検討していく。



秋 嘉一 議員  
無所属  
神栖市選出

**医師不足、医師偏在解消の実効的対策**

議員 本県医療行政の展望および医師偏在解消の目標と具体策は。

**保健医療部長** 医療需要の変化の中でも良質な医療を提供するため、地域医療構想調整会議で各医療機関の役割分担などを議論している。政策医療を担う医療機関に医師が適切に配置されるよう、最優先医療機関の医師確保に取り組みしており、現在、地域枠制度<sup>※2</sup>の見直しも検討している。

(ほかに、鹿島港の物流機能の強化に向けた高速道路・周辺道路の整備、養殖産業の振興なども質問)



鹿島港北公共埠頭におけるコンテナ荷役状況

**稲作農家への支援**

議員 県の施策では、需要に応じた米生産を推進していく方針である。稲作農家支援のため、県産米のイメージアップや輸出拡大に取り組み、国内外の米の需要拡大に取り組んでもらいたい。所見は。

**農林水産部長** コンテスト開催による県産米の認知度向上や米粉の活用促進、海外の消費者ニーズの把握・分析による輸出拡大など、国内外の需要拡大を進め、意欲ある稲作農家が儲かる農業を実現できるよう、後押しをしていく。



横田 透 議員  
いばらき自民党  
つくばみらい市選出

**児童・生徒の可能性を引き出す教育**

議員 児童・生徒の可能性を引き出し、さらに伸ばすため、先進的な取り組みの拡充や教員育成に取り組んでもらいたい。所見は。

**教育長** 学校教育の中で課題解決力の育成や国際教育の推進などに取り組んでおり、好事例を周知し、広く実践を促していく。また、民間企業への派遣やさまざまな分野の研修などにより幅広い知見を持った教員の育成に努めていく。

(ほかに、スポーツツーリズムの推進、小規模事業者への支援なども質問)



「IBARAKIドリームバス事業<sup>※4</sup>」第4回大会で総合グランプリを獲得した石下紫峰高等学校

※3【ヤママップ(YAMAP)】…スマートフォンの電波が届かない場所でも現在地が分かる登山地図GPSアプリで、協定を締結した自治体に関しては、アプリからオンラインで登山届を提出することが可能。  
 ※4【IBARAKIドリームバス事業】…高校生などを対象に、地域の課題解決や自分の夢実現に向けた企画立案・実践活動を通して、アントレプレナーシップ(起業家精神)を育成することを目的とした事業。

# 一般質問(要旨)

## 人口の減少・人口の流出を食い止めるための取組



黒部 博英 議員  
いばらき自民党  
常陸大宮市選出

議員 県北地域の人口減少・流出を食い止めるため、県では「県北振興チャレンジプラン」に基づきさまざまな取り組みを進めているが、今後の方針は。

知事 県北地域はもとより、県全体が持続的に発展していくため、地域ごとの特性や強みを生かしながら、産業の振興をはじめとするさまざまな施策を部局横断的に推進することで、魅力的な雇用や新しい人の流れを創出し、人口減少の抑制につなげていく。

## 常陸大宮済生会病院の医療体制の充実

議員 高齢化率が高い県北西部地域では、整形外科医の確保をはじめとした医療体制の充実が求められていると考えるが、所見は。

保健医療部長 整形外科医の確保については、地域医療対策協議会で優先度は低いと評価されているが、病院が地域医療構想において求められる機能や役割を果たせるよう、地元市と連携し、適切な医療体制の構築を目指していく。

(ほかに、有機農業の推進、県北西部地域における県立高校の魅力づくりなども質問)



常陸大宮市に形成された大規模有機モデル団地

## 地域の公共交通の確保とライドシェア



石塚 隼人 議員  
いばらき自民党  
坂東市・五霞町・境町選出

議員 公共交通の維持や運営が困難となり、国でライドシェア導入への動きが活発化している中、地域の公共交通をどのように確保し、また、ライドシェア導入についてどのように考えるのか。

知事 茨城県地域公共交通計画に基づき、地域公共交通の方向性などについて市町村などと共有し、地域公共交通ネットワークの維持確保や活性化に取り組む。ライドシェアの導入については、国の議論を注視して対応していく。

## 県立高校におけるキャリア教育・就職支援

議員 県立高校で若者サポートステーション※1をはじめとした外部機関と連携するなど、就職へのサポート体制を厚くする必要がありと考えるが、どう取り組むのか。

教育長 若者サポートステーションなどの外部機関の活用事例を進路指導担当者の会議などで周知し、活用を促すことで、県立高校のキャリア教育の充実に取り組む。(ほかに、坂東PAでの魅力発信拠点の創出、ミュージアムパーク茨城県自然博物館の魅力向上と地域との連携なども質問)



交通空白地でNPO法人が住民を有償で運送している様子



水柿 一俊 議員  
いばらき自民党  
筑西市選出

## 水稻における高温対策

議員 猛暑の影響で一等米比率が大幅に低下した。国の研究機関や大学などと連携した高温耐性品種の育成や高温対策に取り組む必要があるが、どう進めていくのか。

農林水産部長 高温耐性を持つ国産育成品種「にじのきらめき」の栽培を全県下で推奨するほか、同じく高温に耐性を持つ県産育成品種「ふくまる」の普及を進める。また、今後は国や各県に加え、県内大学などとも連携を図り、新品種の育成に取り組んでいく。

## 太陽光発電施設の防犯対策

議員 本県は金属盗の認知件数が全国ワーストである。被害の半数以上を占める太陽光発電施設における被害の現状と防犯対策は。

警察本部長 太陽光発電施設での被害総額は、令和5年11月末で約20億円に上っている。今後、県金属盗対策を改正し、買取業者における取引相手の身分確認の厳格化や罰則の引き上げなどを盛り込むほか、被害者の半数以上を占める不法滞在外国人への対策を強化する。

(ほかに、共有地の円滑な取得、不登校対策なども質問)



高温耐性を持つ「にじのきらめき」の栽培講習会の様子



下路 健次郎 議員  
いばらき自民党  
東海村選出

## アルプス処理水の海洋放出による風評被害の防止に向けた取組に対する評価

議員 心配されていた風評は、放出前日に数件確認されたが、新たな発生は確認されていない。県は、風評被害の防止に向けた取り組みをどのように評価しているのか。

防災・危機管理部長 風評の発生を抑制できた理由は、国においてIAEA※2の包括報告書や、福島第一原子力発電所周辺海域のトリウム測定結果といった、科学的根拠に基づく正確な情報を丁寧に繰り返し国内外に発信してきたことが、大きな要因と考えている。

## 拡散シミュレーション※3結果の考え方

議員 拡散シミュレーションができて不安を生むことがないよう、結果をどう周知していくのか。

防災・危機管理部長 安全対策設備が有効に機能した場合は、放射性物質が放出されることはなく、重大事故が発生し、フィルタ付きベント装置で放射性物質を放出する事態でも、PAZ※4の住民を除き、避難や一時移転は生じない結果となることを周知していく。

(ほかに、要支援者の個別避難計画の取扱い、BNC※5の開発実用化の現状と今後の取組なども質問)



お寿司を食べる家族

## 今定例会で可決された議案など

### 議員など提出

#### ◆規則の一部改正

○茨城県議会会議規則の一部を改正する規則

#### ◆意見書

○持続可能な社会保障制度の確立に向けて、国民が将来にわたる必要な医療・介護を安心して受けられるための財源確保を求める意見書

#### ◆決議

○私学助成の充実強化等に関する意見書

#### ◆決議

○ガザ地区における平和の早期実現を求める決議

#### 知事提出

#### ◆令和5年度補正予算関係

○一般会計補正予算(2件)

○特別会計補正予算

○企業会計補正予算(2件)

#### ◆条例の制定および一部改正

○茨城県核燃料等取扱税条例

○茨城県再生資源物の屋外保管の適正化に関する条例

○茨城県都市公園条例の一部を改正する条例

○学校以外の教育機関の設置、管理及び職員に関する条例の一部を改正する条例

#### ◆人事

○茨城県暴力団排除条例の一部を改正する条例

#### ◆認定

○令和4年度茨城県公営企業会計決算の認定について

○令和4年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について

#### ◆報告

○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

#### ◆その他

○令和4年度茨城県公営企業会計に係る利益の処分について

○当せん金付証券の発売について

○指定管理者の指定について(茨城県立県民文化センター)

#### 請願

○令和6年度私立高等学校等経費等助成に関する請願

○笠松運動公園スケートリンクの運営に関する請願

※意見書および請願の全文は議会ホームページでご覧になれます。

https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/yayoi/yaori/202401\_pdf/kenkyo.htm



# 常任委員会の審査から

## 営業戦略農林水産委員会

## 総務企画委員会

**核燃料等取扱税により整備した避難用道路<sup>※1</sup>の周知方法に関する工夫は県民に分かりやすい周知方法を検討していく**

**問** 核燃料等取扱税により整備した避難用道路について、整備した箇所が県民に分かりにくいと、周知方法に工夫が必要と考えるが、所見は。  
**答** 当該税により整備した避難用道路は、現在、路線名のみホームページで公開しているが、今後は整備した区間を表記するなど、県民に分かりやすい周知方法を関係部局と検討していく。  
**問** 常陸国ロングトレイルを本県全体の観光コンテンツとして整備するのは良いが、当初の目的である県北振興を果たせるのか、所見は。  
**答** 県北地域の交流人口拡大



常陸国ロングトレイルコースの奥久慈男体山(大子町)

のため、ロングトレイルの整備を進めており、まずは県北地域の経済波及効果の増大を図ることが前提とされている。(ほかに、出資団体職員の給与の状況、水道事業広域連携に関する県民等への理解促進なども質問)

**生分解性マルチ<sup>※4</sup>の利用拡大に向けた取り組みは従来品との差額を定額補助し、持続的な農業への転換を図る**

**問** 生分解性マルチは労働力が減少する中、省力化に有効だが、高価で普及していない。利用拡大に向けた取り組みは。  
**答** 従来品との差額分の定額補助を認定農業者などに対して行うほか、本県に適した製品の選定などにより、利用拡大を進め、低コスト化を図る。省力化により生産性を高めて所得向上につなげ、持続的な農業への転換を推進する。  
**問** 茨城空港の着陸ルールの弾力化に伴い、ゴルフツアーなどの特色を生かした路線誘致が重要だが、所見は。  
**答** 韓国や台湾のゴルフ需要を取り込むため、本県のバリ



甘藷の収穫を前に徐々に分解が始まった生分解性マルチ(白色円内)

エーションに富んだゴルフ環境や観光地を旅行会社にアピールしてツアー造成を働き掛け、茨城空港のチャーター便や定期便の誘致につなげていく。(ほかに、ナガエツルノゲイトウの防除対策、MICE<sup>※5</sup>誘致の取り組みなども質問)

## 土木企業立地推進委員会

## 防災環境産業委員会

**市町村の避難計画の策定見込みは放射性物質拡散シミュレーションの公表で策定が進むと考える**

**問** 市町村の避難計画について、部長などが一緒に働き掛けることで、早期策定を望むが、策定の見込みと支援は。  
**答** 東海第二発電所に係る放射性物質拡散シミュレーションの公表により、避難計画の策定が進むと考える。必要となるには県幹部が要請に行き、策定に向けた課題解決に取り組んでいく。  
**問** ナガエツルノゲイトウ<sup>※2</sup>の危険性と補正予算における農林水産部との役割分担は。  
**答** 当該植物は繁殖力が極めて強く、農地への侵入などの影響が懸念される。補正予算では、農地への侵入防止を農



農業用水路内に繁茂するナガエツルノゲイトウ

林水産部で、繁茂の著しい農業用水路内の駆除を県民生活環境部で担当することとした。(ほかに、東海第二発電所に係る放射性物質拡散シミュレーション結果、防潮堤工事における県への報告の状況なども質問)

**高度浄水処理施設の完成で水道水はどう変わるのかおいしさを今まで以上に確実に提供できる**

**問** 高度浄水処理施設の完成により、県民に供給される水道水はどう変わるのか。また、送水開始時期は。  
**答** 原水の水質が悪くなった場合でも、施設の完成により水道水のおいしさを今まで以上に確実に提供できる。試運転の送水開始を予定している。  
**問** 道路占用料徴収条例の一部改正に至った経緯は。また、県民に対する周知への対応は。  
**答** 占用者を入札方式で選定できるような道路法が改正されたことや占用の需要が今後見込まれることから、今回の改



高度浄水処理施設(土浦市大岩田)

正に至った。県民に対し分かりやすく周知し、未利用地の有効活用を図っていく。(ほかに、未来産業基盤強化プロジェクト等による市町村への支援、港公園展望塔における修繕と今後の利用再開見込みなども質問)

## 文教警察委員会

## 保健福祉医療委員会

**「全校一斉いばらき美味しお給食」提供の取り組みの展望は減塩の取り組みを社会全体に広げていきたい**

**問** 公立小中学校での「全校一斉いばらき美味しお給食」提供の結果は。また、このような取り組みが日常になってほしいと考えるが、所見は。  
**答** 各校が独自に美味しお給食に取り組みこともあったが、今回、一斉実施で発信力が高まり、内容も好評だった。過度な減塩は残食が増える恐れもあるため、試行錯誤しつつ、おいしく減塩の取り組みを社会全体に広げていきたい。  
**問** 医療機関等物価高騰対策支援金は、申請手続きが煩雑で、支給が遅かったとの声を聞くが、対応は。  
**答** 審査などの人員は、昨年



「全校一斉いばらき美味しお給食」の献立例「美味しく減塩こくうまラン」

度から倍増した。医療系と福祉系施設の両方を持つ法人は、申請の一本化により、効率化している。次期受付でも、手続きの簡素化を図っていく。(ほかに、オーバードーズ<sup>※3</sup>への対策、水戸医療圏での県立病院の在り方なども質問)

**G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合での安全面の取り組みは警備体制の構築などに取り組み、開催としての治安責任を全うした**

**問** G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合における安全確保のための取り組みは。  
**答** 令和5年2月に総合警備対策室を設置し、警備体制の構築や実地踏査、事前広報による交通総量の抑制などに取り組んだ結果、国内外要人の安全と行事の円滑な進行を確保し、開催県としての治安責任を全うしたと認識している。  
**問** 令和6年度県立中学校等入学者選抜に係るWeb出願において、登録未了者などの志願者が発生したことは重大な問題である。今後の対応は。  
**答** 今年度はWeb出願の詳細を入学者選抜実施要項に盛



G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合における水戸市内での警備の様子

り込めなかったため、次年度は実施要項にWeb入力が必要であることや入力期間、重要事項などを記載する。(ほかに、大麻所持の低年齢化等を踏まえたまん延防止対策、在留外国人に対する相談・支援体制なども質問)

# 予算特別委員会

## ●質疑者

12月19日(火)



こちらから録画映像をご覧いただけます。

- 豊田 茂 (いばらき自民党)
- 二川 英俊 (国民民主党)
- うの のぶこ (市民ネットワーク)
- 瀬谷 幸伸 (いばらき自民党)
- 村本 修司 (公明党)
- 中山 一生 (茨城無所属の会)
- 長谷川 重幸 (いばらき自民党)

[https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai\\_result&gikai\\_id=166](https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=166)

動におけるさまざまな機会を捉えて労働教育の充実を推進していく。  
(ほかに、地域公共交通である鉄道事業の維持、介護人材確保なども質疑)

**うののぶこ委員 (市民)** 東海第二発電所の防潮堤工事の不良について、原子力規制委員長は使用前検査で確認すると言いますが、その段階でやり直せと言えるのか疑問である。県民の安全を守る県が事実説明を行うべきではないか。

**知事** 原子炉等規制法に基づき、原子力規制委員会が使用前検査において立ち会い検査や記録検査により工事計画や技術基準に適合していることが確認されるものであり、県が第三者機関などを設けて検証を行うものではない。  
(ほかに、TX沿線地域の子育て世代急増による公立高校不足への対応なども質疑)

**瀬谷幸伸委員 (自民)** 日立市会瀬地区では、本県唯一の定置網漁業が行われている。漁師体験的な観光に取り組みむことで、市の魅力創出につなげたいが、定置網漁業の海業への活用策は、  
**農林水産部長** 11月に県内の中学生が水揚げの体験や入札の見学を行う教育旅行を実施した。こうした取り組みを継続し、定置網漁業を観光に活用するためのノウハウを蓄積していくとともに、課題解決に向けて地元漁業協同組合と連携し、地域資源の価値や魅力を活用した海業の推進に努めていく。

**二川英俊委員 (国民)** 高校生には、職業を選ぶ際の判断材料として、働く上で必要なワークルールなどの労働教育が必要と考える。高校教育における労働教育をどう充実させていくのか。  
**教育長** 昨年度から新たに公民科の必修科目となった「公共」の授業などにおいて、職業選択や雇用と労働問題などに関する労働教育を行っている。生徒自身が知識を深め、望ましい労働環境を選択できるよう、学校の教育活

えるが、県の取り組みは。  
**土木部長** 点検により河川状況を把握し、優先度の高い箇所から浚渫などを実施している。また、河川ごとの特性に応じた効果的な点検手法や、蓄積した点検データの活用方法を検討し、河川の維持管理の効率化に努めていく。  
(ほかに、市販薬乱用(オーバードーズ)の対策、不登校対策としての睡眠指導の導入なども質疑)

**中山一生委員 (茨無会)** 知事のリーダーシップにより、茨城県職員の育児休業取得率は劇的に向上したと考えるが、知事の育児休業に対する考え方は、  
**知事** 男性職員の育児休業の取得は、子育てに主体的に関わる契機として重要であるほか、業務の効率化や新たな視点で仕事に取り組みむきっかけになるなど、県民サービスの向上も期待できると認識している。今後も、県庁はもとより、県全体で男性の育児参加を進め、日本一子どもを産み育てやすい県を目指して全力で取り組んでいく。  
(ほかに、ナガエツルノゲイトウ対策、牛久沼の越水対策なども質疑)

**長谷川重幸委員 (自民)** 本県が農業大県として食料安全保障を担うためには、持続可能な農業経営を確立し、食料の安定供給に資する施策を推進・加速化する必要があると考えるが、本県農業をどのように評価し、今後どのように課題解決に取り組んでいくのか。  
**知事** 「儲かる農業」の実現に向けた取り組みの成果が着実に現れている。県の施策にスピード感をもって取り組み、収益性が高い農業構造への転換を加速化することで、本県農業の持続的な発展を図っていく。  
(ほかに、被害農業者への支援、物流2024年問題への対応なども質疑)

**新** 省力化・グリーン化同時実現型資材活用推進事業(省力化や環境負荷軽減のため生分解性マルチを導入する認定農業者などに対する補助)  
**新** いばらき業務改善奨励金事業(賃金を30円以上引き上げ990円以上とし、国の業務改善助成金を受け的事业者に対する上乗せ補助) など  
**5** 安全・安心の確保(約1000万円)  
**6** 防災・減災・国土強靱化の推進(約288億200万円)

## 令和5年度12月補正予算案が可決

令和5年台風第13号により被災した事業者に対する支援や道路、河川などの災害復旧および再度災害防止対策、茨城県植物園などのリニューアルに必要な予算のほか、国補正予算に対応して、エネルギー・食料品価格などの物価高騰の影響を受ける医療機関、福祉施設、農林水産業者などに対する支援や、省力化、生産性向上につながる新たな取り組みへのチャレンジを促すための事業、防災・減災、国土強靱化に資する事業について対応するために必要な予算を計上した12月補正予算案(約391億9500万円)が可決されました。

### 12月補正予算案に計上された主な事業

- 1 中小企業への支援(約2億1500万円)  
**新** 被災事業者再建支援事業(災害救助法が適用された3市の被災事業者が行う建物修繕などに対する補助)
- 2 災害復旧及び再度災害防止対策(約53億1300万円)
- 3 県政の課題等への対応(約8800万円)  
**新** 植物園等魅力向上対策事業(茨城県植物園などの魅力向上のためのリニューアル工事に伴う基本設計)
- 4 物価高騰対策(約47億6700万円)  
・医療機関等物価高騰対策支援事業(光熱費などの高騰の影響を受け省エネなどに取り組む病院、診療所、薬局などに対する補助)  
・福祉施設等物価高騰対策支援事業(光熱費などの高騰の影響を受け高齢者施設、障害者施設、児童養護施設などに対する補助)  
**新** 農林水産物物価高騰対策支援関連事業(配合飼料価格安定制度生産者積立金に対する支援、コイ養殖餌料価格高騰に対する支援)  
**新** 農業水利施設外来水生植物対策関連事業(農地でのナガエツルノゲイトウ繁茂拡大防止のための侵入防止フェンスの設置および駆除に対する補助)
- 5 安全・安心の確保(約1000万円)
- 6 防災・減災・国土強靱化の推進(約288億200万円)

ことば ※【海業】…漁村の人々が海や漁村に関する地域資源の価値や魅力を活用して所得機会の増大などを図る取り組み。

令和6年

各会派基本方針

いばらき自民党



いばらき自民党 議員会長

白田 信夫

県政課題に一意専心に取り組む

新年を迎え、県民の皆さまのこの一年が干支にちなむ「吉日良辰」となるよう...

足に対する最重要政策項目」を緊急最重要政策項目とし、総項目数は新規57件、一部修正113件を含む2621件となりました。

公明党



公明党 茨城県議会議員会代表

高崎 進

生活に密着した政策実現を

令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし...

国民民主党



国民民主党 茨城県代表

齋藤 英彰

生活者・働く者の視点で政策実現を

初めに、本年元日に発生した令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福を謹んでお祈り申...

茨城無所属の会



茨城無所属の会 代表

中山 一生

県民の誇りを守る県政を目指して

元日からの震災で亡くなられた皆さまのご冥福と、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

立憲いばらき



立憲いばらき 代表

設楽 詠美子

いのちを守り育みます

今年も、新年を迎え、県民の皆さまのこの一年が干支にちなむ「吉日良辰」となるよう...

- 1 県民の皆様へ寄り添う物価高騰対策
2 子どもたちの夢をかなえる給付型奨学金制度の実現
3 有機栽培の農作物の生産拡大とオーガニック学校給食の実現と学校栄養士の手厚い配置
4 外国人と県民の皆様へ障がい者・高齢者等が助け合い安心して暮らせる茨城づくり
5 眼育に力を注ぎ健康長寿を目指し医師・看護師の偏在対策の強化
6 里山整備と木育の充実

※【バスベイ】…バス停のある場所の歩道に切れ込みを入れてバスが停車するために設けられたスペースのこと。

### 「決算特別委員会」を開催しました

本委員会(常井洋治委員長)は、令和5年第3回定例会で付託された令和4年度茨城県一般会計決算などの議案を審査するため、同年9月22日に総括説明、10月3日から11日および18日に3つの分科会による部門別審査、10月18日に総括質疑を行った上で採決を行い、3つの決算議案を可決および認定しました。

分科会における部門別審査では、「筑波山の更なる魅力の推進と保全」、「農地集積総合支援事業における借り手ごとの適正規模の考え方と農地中間管理機構の体制強化」、「プレデステイネーションキャンペーンの成果とデステイネーションキャンペーンに向けた取組」、「県立3病院における未収金の推移」など、詳細な質疑応答が交わされました。

分科会終了後に行われた委員会における総括質疑では、「県総合計画の政策・施策の進捗状況」、「今までの情報発信と、これからの情報発信」、「産業廃棄物最終処分場の整備・運営」、「歳出不用額の理由の記載内容」、「県北振興」、「老朽化した県内の水道施設」、「有機農業をはじめとする環境にやさしい農業の推進」、「入札における総合評価方式の適切な実施」、「物価高騰対策」、「脱炭素社会の実現」など、部門別審査を踏まえた全体的、総合的、横断的な質疑応答が交わされました。

また、審査の過程で委員から出された「畜産試験場跡地の有効活用」、「在宅医療の推進」、「家畜防疫体制の強化」など23項目を審査の成果として取りまとめ、県執行部に対し、事務事業の見直し、改善の申し入れを行いました。

申し入れに対する対応状況については、令和6年第1回定例会の常任委員会で県執行部から報告の上、確認を行う予定です。

決算関係議案は、令和5年第4回定例会の開会日の本会議で委員長報告の後、先議され、早期認定が図られました。



県執行部へ申し入れ書を手渡す常井洋治委員長(中央)と川口政弥副委員長(左側)



総括質疑の様子

### 「誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会」の調査結果を報告しました

本委員会(伊沢勝徳委員長)は、「誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくりに関する諸方策の在り方」について調査・検討を重ね、定例会最終日に県執行部への提言を中心とする調査結果を報告しました。

#### 【主な提言の概要】

- 1 結婚・出産の希望がかなう社会づくり
  - 子どもの数に応じた優遇策の制度設計に関する国への働き掛け
  - SNSの活用をはじめとした若者世代に対する効果的な広報
  - 結婚や子育てについて実践的・体験的に学ぶ機会の拡大
  - いばらき出会いサポートセンターのさらなる有効活用
  - 新婚夫婦や子育て世帯の優待制度に係る認知度や利便性の向上
  - 不妊治療における多様な相談体制の充実
  - 安心して子どもを育てられる社会づくり
- 2 アウトリーチ型の家庭訪問事業における担い手の確保
  - 病児保育を実施できる施設の数を増やすための取り組み
  - 一時預かり保育の安心感を高めるための取り組み
  - 全ての家庭が確実に利用できる放課後児童クラブの受け皿整備
  - 子どもをSNS犯罪の被害から守るための取り組み
  - 小児医療費助成制度において県が財源を持つ対象範囲の拡充
- 3 誰もが教育を受けることができる社会づくり
  - 不登校の解消に向けた次の一手となり得る対応の検討
  - スクールソーシャルワーカーに係る待遇面の向上に向けた検討
  - インクルーシブ教育の理念を踏まえた共に学ぶ機会の充実
  - 自転車利用の高校生に対するヘルメット着用促進
  - 高校生の通学費に対する支援制度の検討
  - 奨学金の返済の負担に係る支援拡充に向けた検討
- 4 多様な働き方・外国人材の積極活用等
  - 各分野のデータ分析を踏まえた戦略的な外国人材の獲得
  - 外国人が然るべき相談機関につながることでできる体制の確立
  - 外国人児童生徒の保護者が日本語を学ぶための支援
  - いわゆる「物流の2024年問題」の解決を図るための取り組み
  - 地方でより自主的に最低賃金額を決定できる仕組みづくり
  - 子連れ出勤や子連れワークといった多様な働き方の波及



調査結果の報告を行う伊沢勝徳委員長

※報告書の全文は議会ホームページでご覧いただけます。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/report/hizokuri/houkokusho.pdf>



### 「県有施設・県出資団体等調査特別委員会」を開催しました

人口減少社会における県有施設の今後の方向性や売却などの処分の妥当性、県出資団体などの事業の在り方、経営改善方策などについて、重点的に調査・検討を行うことを目的として令和5年7月に設置された「県有施設・県出資団体等調査特別委員会」(田山東湖委員長)では、これまで5回の委員会を開催し、活発な議論を行ってまいりました。

同年12月5日には、第3回委員会(9月25日開催)において審査を行った国民宿舎「鶴の岬」およびカントリープラザ「鶴の岬」についての現地調査を行い、施設内の状況を調査するとともに、経営状況や稼働率などについて、指定管理者である公益財団法人茨城県開発公社および県執行部からの説明聴取、質疑を行いました。

また、同年第4回定例会中に開催した第5回委員会(12月21日開催)においては、「県有施設・県出資団体等の現状、課題、対応方針」の審議のほか、「公の施設等の譲与・譲渡手続きに係る議会の関与」などについて、県執行部からの説明聴取、質疑を行いました。

議会の関与については、第3回委員会において、委員会から県執行部に対し、議会が十分関与できる仕組みづくりを検討するよう促したものであり、県執行部からは、今回の調査特別委員会を対象とした全施設について、毎年1回、定期的に議会への報告を行うなど、議会への説明機会や説明内容の充実を図っていくとの検討結果が示されました。

また、第5回委員会においては、同年12月5日に現地調査を行った国民宿舎「鶴の岬」などについて、この際に行われた質疑や疑問点などを踏まえ、改めて県執行部からの説明聴取を行い、委員と県執行部との間で活発な議論が交わされました。

本委員会では、今後も各県有施設・県出資団体などについて、引き続き審査を進めてまいります。



12月21日に開催した第5回委員会の様子

### 流通経済大学で出前委員会を開催しました

県議会では、開かれた議会を目指し、議会の活動を身近に感じていただけるよう、県議会議事堂以外の場所で委員会を開催する「出前委員会」を開催しています。

今回の出前委員会では、文教警察委員会（長谷川重幸委員長）の審査の様子を傍聴していただき、委員会の審査後には、委員と流通経済大学生などとの間で、委員会を傍聴した感想や県の取り組みについて意見交換を行いました。

#### 【開催結果】

日時 令和5年11月16日(木)

午後1時5分から

場所 流通経済大学龍ヶ崎キャンパス

テーマ 「部活動の地域移行」

学生からの意見など

・委員会は初めて見たが勉強になった。

・子どもは大人と違った視点を持っている。

・ぜひ子どもの意見も取り入れてほしい。



流通経済大学における出前委員会の様子

### 県議会を傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。

県民の皆さまが、選出された県議会議員がどのようなことを審議しているのか、目の前でご覧いただける身近な機会ですので、ぜひお気軽にお越しください。

なお、本会議の傍聴を希望される方は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できます。

その他、団体での傍聴や常任委員会の傍聴などの詳細については、県議会議事事務局議事課までお問い合わせください。

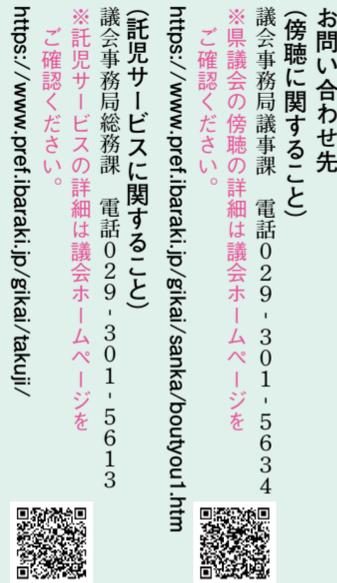
#### 〈児童や乳幼児をお連れでの傍聴について〉

・親子席を用意しております。

・授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には、部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽にお声掛けください。

・県庁内保育所（ひより保育園）の一時預かりを活用した託児サービスも行っております（託児サービスのご利用には、面談などの事前手続きが必要です）。

お問い合わせ先  
(傍聴に関すること)  
議事事務局議事課 電話029・301・5634  
※県議会の傍聴の詳細は議会ホームページを  
ご確認ください。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/sanka/boutyou1.htm>  
(託児サービスに関すること)  
議事事務局総務課 電話029・301・5613  
※託児サービスの詳細は議会ホームページを  
ご確認ください。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/yakuji/>



本会議場の傍聴席

### 「県議会PRコーナー」にお立ち寄りください

議事堂1階には、来庁者の皆さまに議会への関心を高めていただくため、さまざまな情報を展示・発信する「県議会PRコーナー」を設置しております。

ここでは、県議会の歴史や役割、仕組みを分かりやすく紹介するパネルのほか、実際に使用された貴重な資料や記録を展示しております。

また、令和3年11月にはPRコーナーのリニューアルを行い、一新したモニター設備で、県議会PR映像や議員紹介映像、茨城大学が主催する「茨城の魅力を探求し発信する高校生コンテスト（通称・いばたん）」の優秀作品を視聴できるようにしました。

さらに、令和5年11月にはデジタルサイネージを新たに導入し、議会の活動状況を紹介するフォトギャラリーを放映しております。

議事堂にお越しの際は、PRコーナーにぜひお立ち寄りください。

なお、PRコーナーの改善のためのアンケートも設置しておりますので、お立ち寄りの際はご協力をお願いいたします。

今後も、多くの県民の皆さまに足を運んでいただける身近な県議会となるよう、PRコーナーをはじめ各種情報発信の充実にも努めてまいります。



県議会PR映像などが視聴できるモニター設備



県議会PRコーナー



議会の活動状況を放映するデジタルサイネージ



資料や記録の展示

### 県議会の録画中継をご覧ください

県議会のホームページでは、これまでに開催された各定例会における、知事の提出議案説明、各党派議員の代表質問、一般質問、予算特別委員会質疑などの様子を録画中継でご覧いただくことができます。

議会活動を文字で読むだけではなく、議場における各議員の質問・質疑の様子を映像と音声で見聞きすることで、県政で議論されている問題などを、より身近に感じていただけます。

※こちらから県議会の録画中継をご覧ください。  
<https://ibaki-pref.streamlit.co.jp/>



### 議会人事

#### ◆委員会人事

12月22日付で森田悦男議員が県有施設・県出資団体等調査特別委員会委員を辞任されたことに伴い、同日付で川津隆議員が同委員会の委員に選任されました。

また、12月22日付で半村登議員が予算特別委員会委員を辞任されたことに伴い、同日付で村上典男議員が同委員会の委員に選任されるとともに、委員長に指名されました。

### 永年在職議員表彰

12月6日に茨城県議会の永年在職議員表彰が行われました。表彰を受けた議員は次のとおりです。

10年在職 黒部 博英 議員

### 委員会などの新人事

#### 議会運営委員会

議会運営委員会は、議会の運営の円滑化を図るため、議会の運営に関する事項などについて協議するために設置される委員会です。

委員長	下路 健次郎
副委員長	坂本 隆司
委員	白田 信夫
	常井 洋治
	戸井田 和之
	黒部 博英
	金子 晃久
	八島 功男
	齋藤 英彰
	中山 一生

#### 情報委員会

情報委員会は、県議会情報公開条例に基づき、公文書の開示決定などに対する不服申立てや議会広報の充実についての調査などを行う委員会です。

委員長	磯崎 達也
副委員長	石塚 隼人
委員	星田 弘司
	水柿 一俊
	村田 康成
	瀬谷 幸伸
	村本 修司
	大足 光司
	櫻井 信幸
	金子 敏明

#### 監査委員

県民代表の立場から適切な県予算の執行などについて、監査を行います。

森田 悦男
伊沢 勝徳